

# 未成年『模擬』衆議院議員選挙2009 実施報告



模擬選挙推進ネットワーク

<http://www.mogisenkyo.com>

# 目次

- ・実施概要 3P
- ・今回の特徴 4P
- ・集計概要 5P-6P
- ・投票結果 7P
  
- ・政党別投票理由 8P-10P
- ・未成年の感想 11P
- ・未成年から政治家への意見 12P
  
- ・総括、今後の課題 13P
- ・主催、問合せ先 14P



△街頭投票@三重

# 実施概要

## 実施時期(投票受付期間)

- ・ 2009年8月19日(水)午前8時30分から  
8月30日(日)午後8時まで

## 対象

- ・ 2009年8月30日現在19歳以下の方

## 投票方法

- ・ 学校：全国から20校が参加
  - 内訳＝中学校：7校 高等学校：12校
  - 日本人学校：1校
  - ※中高一貫校など「中等部・高等部」がある学校は、  
中等部、高等部別に計算
  - 今回初めて模擬選挙を実施した学校＝11校
  - 北海道から九州までの12都道府県で実施
  - 過去の国政選挙の実施学校数
    - 総選挙(2003年)実施校＝7校
    - 参院選(2004年)実施校＝21校
    - 総選挙(2005年)実施校＝42校
    - 参院選(2007年)実施校＝40校
- ・ イベント、地域、Webでの投票
  - イベント・地域：全国5ヶ所＝東京(新宿、渋谷、大田)、三重、和歌山
  - Web：Webで全国から投票を受付



△投票風景@新宿のイベント会場にて



△街頭投票@渋谷

# 今回の特徴

## 1：選挙日程による影響

- ・選挙日程が学校の夏休み期間と重なってしまったため、これまで模擬選挙を実施してきた学校においても実施できなかったところが大多数を占めた。  
また、上記日程の都合から、やむなく実際の選挙日程の前後で実施する学校もいくつかあった。

## 2：新規実施校の拡大

- ・時期の問題で過去実施校において実施不可が大多数を占めたが、新規に実施する学校が相次ぎ、事前の予想を上回る実施状況となった。来年の参議院選挙では、選挙日程次第では全国で100を超える学校の参加も見込まれる。

## 3：「10代の世論調査」の実施

- ・事前に選挙日程が夏休み期間中になることが予想されたため、7月上旬に模擬選挙の代替プログラムの1つとして「10代の世論調査」を実施。全国の中学校・高校から6校が参加、計2646人の回答が集まった（うち2校は8月の模擬選挙も実施）。結果はホームページ上で公開中。  
8月に模擬選挙も実施した学校では政党支持傾向が変化しており、選挙戦での各党の主張に影響を受けて考え方に変化が出てきたことがうかがえる。

## 4：10代による公開質問状の実施

- ・5年前の参院選でも行った「10代による公開質問状」を実施。全国の10代から質問を募集し、10代自身の手で9問を選出し、各政党に送付した。回答はホームページ上で公開中。

## 5：主要政党のマニフェストおよびポスターの入手

- ・主要政党のマニフェストおよびポスター(比例区用)を入手し、希望のあった学校に対して届けた。

## 6：選挙管理委員会との連携

- ・これまでの模擬選挙に引き続き、各地の選挙管理委員会から、実際の選挙で使う投票箱の借用などを受けた

# 集計概要1

投票総数 4629票（実施した全国25カ所中、結果報告のあった18カ所分）

○総選挙(2003年)＝約2100票    ○参院選(2004年)＝約4800票  
○総選挙(2005年)＝約6800票    ○参院選(2007年)＝約8200票

比例区の有効投票数 2890票（選挙区のみ投票、期間外の投票、白紙投票などを除外した票数）  
内訳：白紙投票、選挙区のみ投票、無効票の合計＝79  
期間前の投票＝1471    期間後の投票＝189

※今回は7月実施、9月実施の学校もあり、期間外の票が多くなっている。  
（7月実施・9月実施の学校は実施個所に数えてはいないが、結果報告のあった学校は体験者数として投票総数に含めた。）

## 投票方法

- ・学校 3800票（他に未報告校が7校ある）
- ・地域、イベント 445票
- ・Web 384票

## 集計方法

比例区の政党への投票を、「ブロック制」を考慮せず集計した。

## 集計概要2

## 投票者の年齢内訳

### ▽ 中学、高校の内訳

学年	人数
中学3年	84
中学(学年不明)	385
高校3年	360
高校生(学年不明)	1,168
中高生(学年不明)	1,803
合計	3,800

- ※1 特定の学年のみを対象として実施、もしくは集計した数は取り出して別枠で数えた。学年が3年のみであるのは、教科(公民、政治経済等)の関係であると思われる。
- ※2 中高生(学年不明)となっているのは、中高一貫校での実施で、中高を分けて集計をしていない学校の票である。

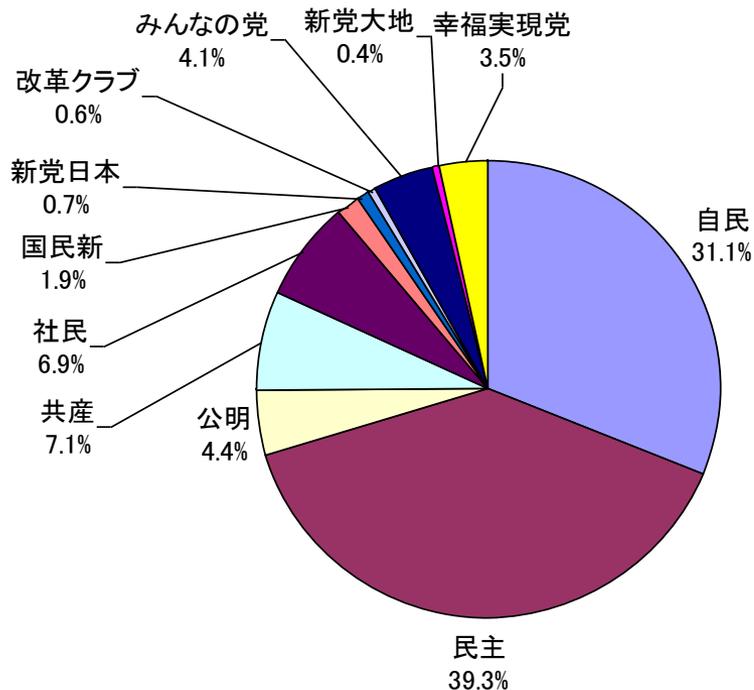
### ▽ 地域・Web投票者の年齢

年齢	人数
2歳	1
5歳	3
6歳	6
7歳	4
8歳	10
9歳	18
10歳	35
11歳	44
12歳	55
13歳	79
14歳	84
15歳	168
16歳	68
17歳	99
18歳	97
19歳	39
記載なし	19
合計	829

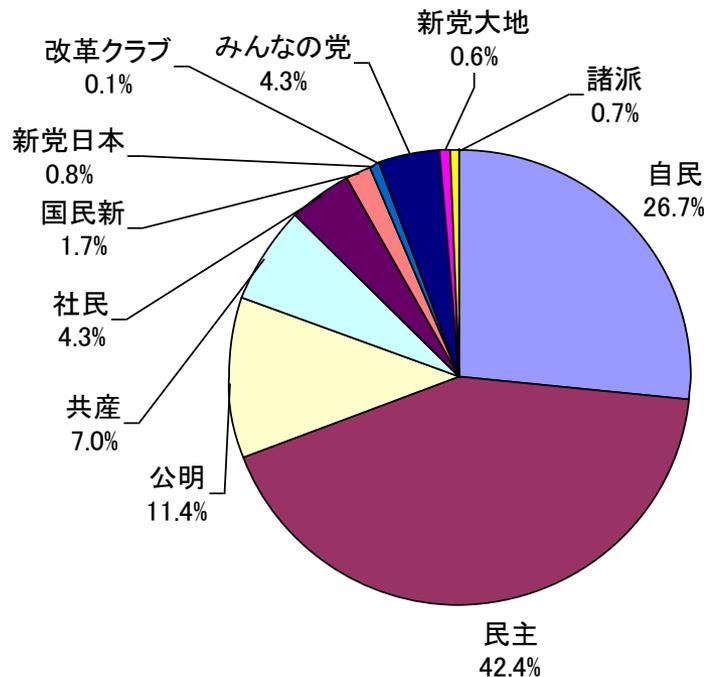
# 投票結果

未成年「模擬」衆議院議員選挙2009

## 未成年の投票傾向



## 実際の選挙の投票傾向



		自民	民主	公明	共産	社民	国民	日本	改革	みん	大地	諸派	合計
未成年 模擬選挙	票数	898	1136	128	204	200	54	21	17	119	13	100	2890
	%	31.1%	39.3%	4.4%	7.1%	6.9%	1.9%	0.7%	0.6%	4.1%	0.4%	3.5%	100%
実際の 選挙	票数	18810217	29844799	8054007	4943886	3006160	1219767	528171	58141	3005199	433122	466786	70370255
	%	26.7%	42.4%	11.4%	7.0%	4.3%	1.7%	0.8%	0.1%	4.3%	0.6%	0.7%	100%

# 各政党別の投票理由(抜粋)

## 自民党・民主党

以下は各党への投票理由の抜粋です。各党に共通する投票理由として、「マニフェストを見て決めた」「自分の意見が一番近かったから」という意見が多く見られました。なお、誤字・脱字もそのまま掲載しています。

### 《自由民主党》

- ・民主党のマニフェストをテレビなどで見ると財政などに根拠がない。自民党は増税など、根拠のあるものがあって期待できる。
- ・実現可能だと思える政策と消費税についても言及している所に投票しました
- ・もう少し麻生総理にがんばってもらいたいからです。今度こそ、日本をよくしてくれると思います。
- ・今まで日本を成長させてきた実績と、これから日本を守る責任力があると思うから。また、麻生総理を支持しているから。民主党は国民を馬鹿にしている信用ならないし、左翼政党に投票したくない。
- ・国会に影響力のある政党としてはほぼ唯一の保守派であり、大衆受けの良い減税や無料化ばかりを訴えるのではなく、財源確保のための増税に理解を得られるよう活動しているから。また、他党とは違い似非平和主義に固執せず、国防のために憲法改正を訴えているから。
- ・行き過ぎたマニフェストではない。他の党は「そんなに使う程のお金は用意できるのだろうか?」とってしまった。
- ・一言で言うと、今の日本を作ったのは自民党さんだからです

### 《民主党》

- ・従来、自民党による日本の政治に、喝を入れたいから。大不況を乗り切るには、ちょっと大胆すぎるくらいの、民主党の政策が必要だと思うから。
- ・子ども手当を支給してほしい。高校は実質無償化・大学は奨学金を大幅に拡充することで、家庭の負担を減らせる。将来、年金がもらえない・消えていることがあったらとても困るから。
- ・税金の無駄遣いをなくすのと官僚任せの政治をかえいと主張したから
- ・本当にマニフェストの5つをやりとげたら、国民も納得できる日本になると思う。
- ・子どもにお金をくれるから
- ・医師が1.5倍に増えることで、医療の効率も良くなるし、助かる命が増えるかもしれないから
- ・民主党がしっかりしていて政権を任せられる、とは思えないけれど、政治を一新する必要があると思ったから

# 各政党別の投票理由(抜粋)

公明党・共産党・社民党

## 《公明党》

- ・4年前の選挙の時のマニフェストの達成率が9割を超えているから。信用できるから。
- ・創価学会員だから
- ・pr動画を見て
- ・税金(消費税)の引き上げを検討しているようだが、税金を引き上げても逆に生活は苦しいし、商品が売れない等の問題が起こるから。今を維持してもらいたいから。
- ・マニフェスト達成率が高かったから。

## 《共産党》

- ・原発や反核、そして9条改正に反対している立場なので。あと若者就労支援をマニフェストに取り込んでいるため
- ・唯一消費税を減税する政党だったから
- ・憲法を大事にし、社会的平等を目指すと言っているから。また戦時中から命がけで侵略戦争反対を訴えてきたから。
- ・雇用・社会保障・子育ての分野における考えが、とても国民にとっても良いものだと思う。医療費を高齢者と子どもが無料化することもいいと思う。少子高齢化の中、福祉国家に近いものになってほしい。
- ・二酸化炭素の削減目標を含む政府との協定を産業界に義務付けた点、公立高校の授業料無償化という点、道州制に反対している点、インド洋・ソマリア沖らかの自衛隊の撤退をさせる点、核兵器を無くすという点より。

## 《社民党》

- ・中学校卒業まで子供の医療費を無料化していて、非核3原則を厳守すると約束しているから
- ・これからの消費税について増やさないこと。教育・介護に力を入れるところ。
- ・自分の考えに近かったから
- ・憲法9条を守り続けてくれそうだから、党主さんが女性だから、女性の声が届きやすそう。
- ・各分野公約に物足りなさ、調査不足は否めないが今回、民主党の衆議院第一党による政権交代が実現すれば社民党は第一党の抑えとして重要。このことに期待。

# 各政党別の投票理由(抜粋)

国民新党・新党日本・改革クラブ・みんなの党・新党大地・幸福実現党

## 《国民新党》

- ・国民の声重視・国政改善に有効
- ・健全な保守として期待できそうなので

## 《新党日本》

- ・高校までの教育費無償化
- ・ベーシックインカムの導入

## 《改革クラブ》

- ・日本人として誇りを持ち、文化や伝統を重視する教育をするという政策から

## 《みんなの党》

- ・公務員改革
- ・みんなとついているだけあって国民の目線になって考えてくれそうだから。

## 《新党大地》

- ・最近出来た党と聞いていたのですが、北海道を変えるために頑張っていると思い、かつ新党大地の森部氏の話を知った時すごく感動したから。

## 《幸福実現党》

- ・税率を低くして消費を増やし、結果的に日本を豊かにするという考えが気に入ったから。
- ・国防が一番きちんとしている。言っていることも、どの党よりも的確だから

## 《なし》

- ・どの政党のマニフェストにも実現したいことは書いてあるが「どのように」とか「税源の事」は明示されていないためマニフェストの信憑性に欠けるため
- ・無効票というの「意志表示」だと思うから



△街頭投票の様子@三重

# 投票しての感想(抜粋)

- ・せんきょカーのこえがうるさいのでしずかにしてほしいです。(8歳・女)
- ・思っていたより投票するのが楽なことに思えました。マニフェストなどもおおく深いと思いました。(11歳・男)
- ・知らない人や党がたくさんあったので、ニュースとかを見てその人のことや党のやることを知りたくなった。(13歳・男)
- ・選挙のことはよくわからないけど少しくょうみがでてきたかも！(14歳・女)
- ・ニュースや親の話を聞いて投票しました。バラマキよりも保育園の問題にお金を使ってください。(中学3年生)
- ・自分のことしか考えていない政党はやめました。(中学3年生)
- ・「模擬」という割には本当に選挙している気分だ。(高校1年生)
- ・安心して投票できる政党が少ないと思う。マニフェストを実現できるだけの力が政治には欠如している。(高校2年生)
- ・一番無理なく国政が出来るようなマニフェストの政党を選びました。高校の授業料無償化したら経済が破綻するのでは。(高校3年生)
- ・今まで「自分にはまだ関係ないだろう」と思って無関心でいたけれど、各党がどんなことをしようとしているかといったことを知り、少しは関心を持たたと思う。いい勉強になった。二十歳になったら本当の選挙にちゃんと行くつもりだ。(高校生)
- ・こんなに本気に政治のことを考えたのも初めてで投票もやらせてもらい、いい経験になった。(高校生)
- ・マニフェストや選挙について報じているニュースなどを見たりして今回の模擬選挙をしましたが、難しい事やわからない事も多く、選挙とは大変だという事がよく分かりました。(高校生)
- ・初めて選挙に関わったが、それぞれの政党が考えていることは知らなかった。日本を知る良い機会になった。(高校生)
- ・全てにおいて完璧な公約を立てている所はないんだと思った。あとどうして公立高校はただなのに私立高校は違うところが多いんだらうと思った。やっぱり党のパンフレットとかきちんと読んで投票すべきだな。(高校生)
- ・今まで自分には関係ないと思っていたがやってみるとすごく身近に感じて政治を知りたいと思った。(高校生)
- ・初めて自分自身で選挙をやってみて、今まで選挙に全く興味がなく、まだ自分には関係ないと思っていたけど、真剣に考えて票を入れなくてはいけないんだと一票の重みを知ることが出来た。(高校生)
- ・自分の一票で色々変わってしまうので、責任が重いと感じた。選挙権が持てるようになったら本当の選挙に行ってみたいと思った。(高校生)
- ・一人一人の票は小さいものだけれどその一票により日本にとって重要なことが決まるんだと思った。(高校生)
- ・どの点を見て他の党と比較すれば良いのか分かりませんでした。書面に書かれていることを見て投票しましたが、実際のところ活動を自身の目で見たわけでないので少々軽率であったと思います。もっと政治に関心を持たねばと感じさせられました。(高校生)
- ・私も選挙権が与えられたらきっと今よりもっともっと国の政権の仕組みや取り組みがもっと深く興味がわいてくるのだと思いました。やはり、知らないことには投票ができませんしね。選挙に初めて触れるいい経験になりました。(高校生)
- ・以前に一回だけべんきょう会をしたので、今回はさらに分かりやすかったです。(19歳・女)

# 政治家に言いたいこと、期待・希望すること(抜粋)

政治家に対して言いたいこと、期待・希望することを聞きました。以下は数が多かった分野の意見から抜粋したものです。このほかにも数多くの声が寄せられています。詳細は全文掲載した別紙を参照ください。

- ・日本を守ってください(10歳・女)
- ・「国民の代表」なのだから、それらしく行動して下さい!!(11歳・男)
- ・汚いことは、しないでほしい。(12歳・男)
- ・税金の無駄遣いをせずに大切・計画的に国民のためになるようなことに使ってほしい。(12歳・男)
- ・50年後に日本がどう呼ばれたいか真剣に考えてください(13歳・男)
- ・日本の景気を回復させてください(14歳・男)
- ・人の話を野次らずに静かに聞いて(14歳・女)
- ・当選するまでだけを頑張るのではなくて、当選してからも頑張してほしい(14歳・男)
- ・子供もれっきとした一国民なのだから子供の意見も聞いて欲しい(15歳・女)
- ・目先の利益にこだわらず、これからへの広いビジョンを持って、日本を支えて下さい。(15歳・男)
- ・子供の喧嘩と変わらないことをしないでください。年齢を重ねているのであれば、それ相応の行動をして私たち未成年をリードして見せてください。(15歳・女)
- ・選挙カーはうるさいだけで 迷惑きわまりないので やめてほしいです。勉強の邪魔になります(17歳・女)
- ・良いことを口だけで言っているのだが、それをしっかりと責任を持って有言実行してほしい。(高校生)
- ・本当に言ってる事をやってくれるのか信じられない。(高校生)
- ・総理大臣をころころ変えないでほしい。無償化すれば良いわけではなく、教育の中身を考えてほしい。(高校生)
- ・頼むから、年金をなんとかしてくれ。あと課税はできるだけ少なめに。ムダづかいはやめろヨ。議員の立場にいて大変かと思いますが、高ぶらず、もっと世の中を見てください。(高校生)
- ・他人の批判ばかりしないで、どう改善すべきか、とかもっと日本のためになることを協力して話し合いとかできないんですか？あと税金は取るべきだと思います。国民を甘やかしてはいけない。(高校生)
- ・絵空事は良いから具体的な政策を出してください。ぼんやりとした公約なら誰だって出せます。ぼんやりとしたものを形にするのが国会議員の仕事です。専門的な知識を駆使してしっかりとした政策を立ててください。(18歳・男)
- ・選挙の時だけががんばりますと言って、国会で寝てるのは人を馬鹿にしていると思う。(18歳・男)
- ・本会議中に居眠りするような議員に、国を任せたいとは思えない(18歳・男)
- ・きっと私が想像する以上にお仕事はたくさんで大変だと思いますが、日本という国がよりよくなるように頑張ってください。応援しています(^-^)(18歳・女)
- ・未成年の私たちも日本の将来について真剣に考えています。どうかその気持ちも御理解いただいて、当選後も責任を持ってお仕事をなさして下さい(18歳・女)

# 総括、今後の課題

## 《総括》

- 1：投票内容に関して
  - ・未成年者の判断能力の未熟さを懸念する声もあるが、実際の選挙結果と比較してもほぼ同様の結果が出ている。
  - ・学校での模擬選挙の取り組みにおいては、各政党の政策の比較、マニフェストの読み比べなどを事前に行っているところが多い。街頭投票でも選挙公報などを見比べた上で投票しており未来の有権者は政策を踏まえたくて投票している。
  - ・普段は選挙や政治に関心のない未来の有権者も、模擬選挙を行うことを通じて、実際の選挙結果に興味・関心を抱くようになってきていることが、感想などから読み取れる。
- 2：実施体制について
  - ・事業収入の全く無い活動であるため、学校への政党ポスター・マニフェストの提供も各学校に送料を負担していただいております（このためポスター・マニフェストの希望を辞退した学校もある）、予算的に大変苦しい中での実施が続いている。

## 《課題》

- 1：学校で模擬選挙を実施するのが難しい日程でも、より多くの未成年者に体験してもらえる実施方法の模索。
- 2：模擬選挙の拡大に対応できるだけの人手や資金、事務所、ホームページ、Web投票システムなどを確保する必要があるが、活動に収入が伴わないために困難な状況が続いている。
- 3：実施が拡大する中で模擬選挙を盛り上げるための資料やグッズをきちんと確保していくために、各政党や選挙管理委員会との連携、協働のあり方の検討が求められている。
- 4：模擬選挙を実施していることを未成年者に知ってもらうための広報手段。マスメディア等の協力を得ていく必要がある。
- 5：模擬選挙に対する理解・認知は以前に比べ広がっているが、まだ十分ではない。

# 実施体制

《主催・よびかけ・連絡先》

## 模擬選挙推進ネットワーク

〒194-0032 東京都町田市本町田939-9

電話:090-6025-9614(代表・山崎), 090-1991-7458(事務局長・林)

ファックス:042-720-8856

E-mail:y-tap@leaf.ocn.ne.jp(代表・山崎), jza04643@nifty.ne.jp(事務局長・林)

※ 模擬選挙推進ネットワークは特定の政党・宗教団体の影響下でない「公平・中立・公正」な組織です

<http://www.mogisenkyo.com/> ←「模擬選挙」で検索!